

カリキュラムマップ

人文科学研究科英語学英米文学専攻 博士課程前期 R4年度以降入学生適用 (学位：修士(文学))

ディプロマ・ポリシー (DP)

人材養成の目的および教育研究上の目的のもと、次に掲げる資質・能力を有していると認められる者に学位を授与する。

【知識・理解】
 DP1：英語に関する各学問分野の知識を修得し、様々な研究方法を用いて口頭発表や論文にまとめることができる。

【技能】
 DP2：学問的問題を解決することができる。
 DP3：先行研究をふまえて自らの論を展開できる。

【態度・志向性】
 DP4：研究倫理に関する基本的な規範意識を身に着けている。
 DP5：自ら研究課題を発見し、その問題を解決する姿勢と意欲を持っている。

*3つのポリシー DPと
 特に強く関連：◎ 強く関連：○

授業科目名	単位数	配当年次	期別	知識・理解	技能		態度・志向性	
				DP1	DP 2	DP 3	DP 4	DP 5
英語学特殊講義Ⅰ a	2	1	前期	◎	○	○	○	◎
英語学特殊講義Ⅰ b	2	1	後期	◎	○	○	○	◎
英語学演習Ⅰ	4又は8	1	2年通年	◎	○	◎	◎	◎
英語学特殊講義Ⅱ a	2	1	前期	◎	○	○		◎
英語学特殊講義Ⅱ b	2	1	後期	◎	○	○		◎
英語学演習Ⅱ	4又は8	1	2年通年	◎	○	◎	◎	◎
英語学特殊講義Ⅲ a	2	1	前期	◎	○	○		◎
英語学特殊講義Ⅲ b	2	1	後期	◎	○	○		◎
英語学演習Ⅲ	4又は8	1	2年通年	◎	○	◎	◎	◎
英語学特殊講義Ⅳ a	2	1	前期	◎	○	○		◎
英語学特殊講義Ⅳ b	2	1	後期	◎	○	○		◎
英語学演習Ⅳ	4又は8	1	2年通年	◎	○	◎	◎	◎
英語学特殊講義Ⅴ a	2	1	前期	◎	○	○		◎
英語学特殊講義Ⅴ b	2	1	後期	◎	○	○		◎
英語学演習Ⅴ	4又は8	1	2年通年	◎	○	◎	◎	◎
英語学特別講義Ⅰ	2	1	集中前期	◎	○	○		◎
英語学特別講義Ⅱ	2	1	通年	◎	○	○		◎
英文学特殊講義Ⅰ a	2	1	前期	◎	○	○		◎
英文学特殊講義Ⅰ b	2	1	後期	◎	○	○		◎
英文学演習Ⅰ	4又は8	1	2年通年	◎	○	◎	◎	◎
英文学特殊講義Ⅱ a	2	1	前期	◎	○	○		◎
英文学特殊講義Ⅱ b	2	1	後期	◎	○	○		◎
英文学演習Ⅱ	4又は8	1	2年通年	◎	○	○	◎	◎

英文学特殊講義Ⅲ a	2	1	前期	◎	○	○		◎
英文学特殊講義Ⅲ b	2	1	後期	◎	○	○		◎
英文学演習Ⅲ	4又は8	1	2年通年	◎	○	◎	◎	◎
英文学特殊講義Ⅳ a	2	1	前期	◎	○	○		◎
英文学特殊講義Ⅳ b	2	1	後期	◎	○	○		◎
英文学演習Ⅳ	4又は8	1	2年通年	◎	○	○	◎	◎
英文学特殊講義Ⅴ a	2	1	前期	◎	○	○		◎
英文学特殊講義Ⅴ b	2	1	後期	◎	○	○		◎
英文学演習Ⅴ	4又は8	1	2年通年	◎	○	◎	◎	◎
英文学特別講義Ⅰ	2	1	集中前期	◎	○	○		◎
英文学特別講義Ⅱ	2	1	後期	◎	○	○		◎
米文学特殊講義Ⅰ a	2	1	前期	◎	○	○	○	◎
米文学特殊講義Ⅰ b	2	1	後期	◎	○	○	○	◎
米文学演習Ⅰ	4又は8	1	2年通年	◎	○	◎	◎	◎
米文学特殊講義Ⅱ a	2	1	前期	◎	○	○		◎
米文学特殊講義Ⅱ b	2	1	後期	◎	○	○		◎
米文学演習Ⅱ	4又は8	1	2年通年	◎	○	◎	◎	◎
米文学特殊講義Ⅲ a	2	1	前期	◎	○	○		◎
米文学特殊講義Ⅲ b	2	1	後期	◎	○	○		◎
米文学演習Ⅲ	4又は8	1	2年通年	◎	○	◎	◎	◎
米文学特別講義Ⅰ	2	1	前期	◎	○	○		◎
米文学特別講義Ⅱ	2	1	後期	◎	○	○		◎
英語教育学特殊講義Ⅰ a	2	1	前期	◎	○			○
英語教育学特殊講義Ⅰ b	2	1	後期	◎	○			○
英語教育学演習Ⅰ	4又は8	1	2年通年	◎	○	◎	◎	◎
英語教育学特殊講義Ⅱ a	2	1	前期	◎	○		○	◎
英語教育学特殊講義Ⅱ b	2	1	後期	◎	○		○	◎
英語教育学演習Ⅱ	4又は8	1	2年通年	◎	○	◎	◎	◎

※博士課程前期の修了の要件は、大学院に2年以上在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、当該課程の目的に応じ、修士論文又は特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格することとする。（ただし、優れた業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。）
DPIに示す資質・能力を有していると認められるものに学位が授与される。

・必要修得単位：32単位以上

必修科目：12単位（専修科目の演習8単位、特殊講義4単位）

選択科目：20単位以上

※専修科目の演習担当者を指導教員とし、授業科目の選択、学位論文の作成、研究一般等について指導を受ける。

※専修科目の演習は2年間8単位の履修を原則とするが、専修科目としない演習は、選択科目として1年間4単位の履修を認めることがある。

・修士の学位論文は専修科目について提出するものとする。

演習科目・・・修士論文の作成を行う。自ら研究課題を発見し、解決する能力を身につける。

特殊講義・・・英語に関する各学問分野の専門的知識を身につける。

特別研究科目・・・英語学、英文学、米文学の各専門分野の知識を身につける。

1 年次・・・専門とする学問分野とその関連分野の知識を深め、研究遂行に必要な基礎力養成

- ・ 指導教員の指導を受け、「研究計画書」を作成する。
- ・ 「演習」、「特殊講義」、「特別講義」における議論、口頭発表、レポート等を通して、学術的な議論や発表に必要な技術を身につける。
- ・ Theme&Method（修士論文作成計画発表会）で、修士論文の構想について発表し、教員や大学院生から指導・助言を受ける。
- ・ 『英語学英米文学論集』にTheme&Methodの原稿を提出する。

2 年次・・・各研究テーマに関する研究を実施し、専門的知識に基づいた論理的説明能力と研究遂行力の養成

- ・ 一年次の総括を踏まえ、適宜研究計画の見直しを行い、論文作成を進める。
- ・ 継続して「演習」等で研究成果を報告し、教員や大学院生から指導・助言を受ける。
- ・ 一定レベル以上の研究成果が得られた場合には、学会発表や論文投稿を行い、広く内外からの評価を受ける。
- ・ 修士論文を提出する。
- ・ 主査・副査による修士論文最終試験（口頭試問）を受ける。
- ・ 修士論文発表会において、研究成果を発表する。

カリキュラムマップ

人文科学研究科英語学英米文学専攻 博士課程後期 R6年度以降入学生適用 (学位：博士(文学))

ディプロマ・ポリシー (DP)

人材養成の目的および教育研究上の目的のもと、次に掲げる資質・能力を有していると認められる者に学位を授与する。

【知識・理解】

DP1：自らが専門とする学問分野の知識と研究能力を高め、それらを活かして博士論文にまとめることができる。

【技能】

DP2：専門分野における先行研究を踏まえたうえで、論理的かつ実証的に考察・分析を行い、自らの研究課題をより深く追及し、研究者として自立した活動ができる。

DP3：英語を用い、独自の見解を論文で明示することができる。

【態度・志向性】

DP4：研究倫理に関する規範意識を身につけている。

DP5：専門分野において後進を指導し、育成する資質や指導力を身につけている。

*3つのポリシー DPと

特に強く関連：◎ 強く関連：○

研究指導科目	単位数	配当年次	期別	知識・理解	技能		態度・志向性	
				DP1	DP 2	DP 3	DP 4	DP 5
英語学特別研究Ⅰ	4又は12	1	3年通年	◎	◎	○	○	○
英語学特別研究Ⅱ	4又は12	1	3年通年	◎	◎	○	○	○
英語学特別研究Ⅲ	4又は12	1	3年通年	◎	◎	○	○	○
英語学特論Ⅰ	4	1	通年	○	◎	○	○	
英語学特論Ⅱ	4	1	通年	○	◎	○	○	
英語学特論Ⅲ	4	1	通年	○	◎	○	○	
英文学特別研究Ⅰ	4又は12	1	3年通年	◎	◎	○	○	○
英文学特別研究Ⅱ	4又は12	1	3年通年	◎	◎	○	○	○
英文学特別研究Ⅲ	4又は12	1	3年通年	◎	◎	○	○	○
英文学特別研究Ⅳ	4又は12	1	3年通年	◎	◎	◎	○	○
英文学特論Ⅰ	4	1	通年	◎	○	○	○	○
英文学特論Ⅱ	4	1	通年	◎	○	○	○	
英文学特論Ⅲ	4	1	通年	◎	○	○	○	
英文学特論Ⅳ	4	1	通年	◎	○	○	○	
英文学特論Ⅴ	4	1	通年	◎	○	○	○	
米文学特別研究Ⅰ	4又は12	1	3年通年	◎	◎	◎	○	○
米文学特別研究Ⅱ	4又は12	1	3年通年	◎	○	○	○	◎
米文学特論Ⅰ	4	1	通年	◎	○	○	○	
米文学特論Ⅱ	4	1	通年	◎	○	○	○	

※博士課程後期の修了の要件は、大学院に3年以上在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。（優れた業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。）

DPに示す資質・能力を有していると認められるものに学位が授与される。

・必要修得単位：12単位以上

必修科目：12単位（専修科目の特別研究科目）

※専修科目の「特別研究」担当者を指導教員とし、学位論文の作成、研究一般等について指導を受ける。

※「特別研究」科目は3年間12単位の履修を原則とするが、専修科目としない場合は、1年間4単位の履修を認めることがある。

・博士の学位論文は専修科目について提出するものとする。

特別研究科目・・・学位論文の作成を行う。専門分野の知識と研究能力を高める。

特論科目・・・英語学、英米文学に関する各学問分野の専門的知識を深める。

1年次・・・専門とする学問分野の知識を深め、研究遂行力を養成

・指導教員の指導を受け、修士論文のレビュー（総点検と見直し）を行う。

・指導教員の指導を受け、レビューに基づき、修士論文の論点の整理と再構築・補強を行う。

・「特別研究」、「特論」における議論、口頭発表、論文作成を通じて論理的且つ実証的に研究を行う技能を身につける。

2年次・・・各研究テーマに関する研究を実施し、専門的知識に基づいた論理的説明能力と研究遂行力を高める。

・1年次の作業を土台として、博士論文の作成を本格的に開始する。

・「特別研究」等における議論、口頭発表、論文作成、並びに専攻内の研究活動の運営に関わる経験、を通じて、研究者として自立した活動ができる技能を身につける。

・博士論文の中間レビューを兼ねて、日本英文学会九州支部大会（もしくはこれに準じる学会）学会で研究発表を行ったり、論文投稿を行い、広く内外からの評価を受ける。

・本研究科主催の公開講座の講師を務めることによって、専門分野において後進を指導し、育成する力を身につける。

3年次・・・博士論文の完成を目指し、自立的な研究能力を養成

・博士論文のエッセンスを『福岡大学大学院論集』へ投稿・掲載したり、学会発表や論文投稿を行う。

・博士論文を提出する。

・主査・副査による博士論文最終試験（口頭試問）を受ける。

・博士論文公聴会において、研究成果を公表する。